

デザイン学部

デザイン学科教授 溝口 和夫

1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
ポスター 『Oh Happy ! Honeymoon』	2010. 6	名古屋芸術大学教員展	青春の「生」をユーモラスに謳歌した作品。
記念誌の表紙 「ベビースイミングから、アクアミクスへ35周年記念大会」誌 デザイン& イラストレーション	2010. 11	サイトーアクアティックアカデミー	ベビースイミングの音楽性をテーマにしたイラストレーションで表現。
論文 「制作における時間意識について」	2011. 3	名古屋芸術大学研究紀要 第32巻	制作活動に集中している時の時間のあり方を我々の意識の形態の一つである「非反省的意識」とのかかわりで考察する。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等	g その他教育活動上特筆すべき事項
授業科目 デザイン実技Ⅳ（MC）IL <input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 工夫の概要 H・ランガー氏の提唱する「Climate Change 2010」の国際学生ポスタープロジェクトに参加するポスター制作課題にとりくむ。	特に「Climate Change 2010」の取組みは、イラストレーションコースと佐藤浩教授指導のヴィジュアルデザインの学生と共にとりくみ、基調講演を本学名誉教授の大島俊三先生にいただいた。気候変動の問題は学生も近年とくに実感しており、現実の社会問題をタイムリーに理解しやすくとりあげることの重要性を痛感した。
教材・資料等の概要 アル・ゴア著「不都合な真実」をもとに地球温暖化現象をわかりやすくするためのスライド作成	
授業科目 視覚デザイン論Ⅰ <input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 工夫の概要 視覚教材が多用される昨今の中で、出来る限り話しことばとして理解しやすいように講義するようつとめている。その為、自著論文を中心とした教材を作成している。	
教材・資料等の概要 ・視覚優位の時代 ・視覚メディアと想像力 ・ポスターの構造 ・記号について ・材料について等	

3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
日本デザイン学会	1974年～会員 現在に至る	1984～1985、1998～1999 2004～2007 評議員
日本グラフィックデザイナー協会	1987年～会員 現在に至る	会員
英国ウィリアム・モリス協会	1997年～会員 現在に至る	会員
NPO 法人サインセンター	2002年～会員 現在に至る	会員

デザイン史フォーラム	2003 年～会員 現在に至る	会員
------------	-----------------	----